

標十五句

松岡隆子選

ちやうどいい白梅にゐあはせてゐる
初蝶に光の重さありにけり
返書したたむ淡雪の明るさに
足跡のもう汚れをる春の雪
立春の水替へて壺あらたまる
漬物石使はず捨てず寒明くる
孝心に甘えて予後や花辛夷
夢なくて風船売に会ひに行く
早梅や名の無き橋を二つ過ぎ
せせらぎの俄に眩し薄氷
ポストへと雪の段差をひと跨ぎ
凍滝の鬩青みつつ盛りあがり
初時雨ひとこと言ひて外に出る
浅草は普段着の街夕永し
地卵のほのかにぬくき寒の晴

川上昌子
佐藤郭子
高橋愛子
濱地恵理子
小山陽子
渡辺あつ子
四宮一子
平沢千恵子
廣瀬ハツミ
早川紀子
菅原永子
町田洋子
田坂孝志
五十嵐かつ子
植田喜代子